

# RKU Today

## 2025



02 創立60周年特別グラビア  
写真でひも解く“流経大”

04 卒業生・教員メッセージ  
流通経済大学60周年に寄せて

06 本学60年の歩み

07 付属柏中学校・高校ニュース  
多様化する教育と新たな試み

08 連載 流経大を歩く  
龍ヶ崎キャンパス

10 学生ピックアップ  
テコンドー選手 木村奏さん

12 留学生ピックアップ  
ベトナム出身 ダオ・ティ・ランさん

13 部活・サークル紹介  
トライアスロン競技部

14 NEWS & TOPICS

vol.47

表紙作品：  
黒川幸司郎『X-JAPAN』  
(社会福祉法人みぬま福祉会 工房集)



▲第13回つくばね祭の様子。いまは無いB館前に出店がひしめく



▲1979年卒業アルバムより、仮装行列で月光仮面やスーパーマンに扮した学生たち。かつては街に繰り出していた

## 龍ヶ崎学園祭 つくばね祭



1975年

◀第10回つくばね祭の正門。毎年、意匠を凝らした門がつくられていた

▼第20回つくばね祭で開催された早食い競争。角刈り率高め



1985年

▼1977年頃の龍ヶ崎キャンパス空撮。サッカーグラウンドやスポーツ健康センターが整備される前



### 創立60周年 特別グラビア

# 写真でひも解く“流経大”

1965年に龍ヶ崎の地で開学し、2004年には新松戸キャンパスも開校した流通経済大学。キャンパスの姿は変われど、古いアルバムの中には、今に通底する自由闊達な空気がありました。



## since 1965 龍ヶ崎 キャンパス

## since 2004 新松戸キャンパス



▲工事中の新松戸キャンパス。13階建ての高層棟は松戸市のランドマークになった



◀6月には「新松戸キャンパス開校記念祭」が行われた



▲開校記念祭では、講堂で「出張!なんでも鑑定団」の公開収録も



2006年

◀新松戸の学園祭「青春祭」がスタート。価格設定に時代を感じる



1971年頃

▲かつて正門の隣は民家だった



1969年頃

▲1969年卒業アルバムに写る「図書館」

▼当初は体育祭も開催されていた。「昼飯代節約競走」の一幕

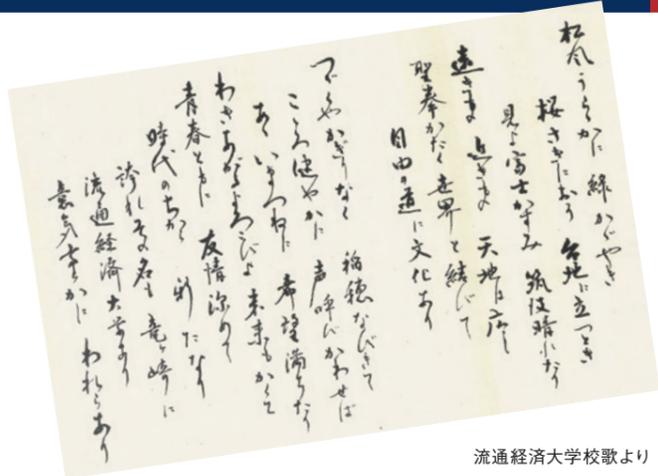
▶およそ55年前の龍ヶ崎キャンパス。正面がA館、向かって左がB館だった。手前に写るのは屋外プール



1970年頃



1968年頃



流通経済大学校歌より

## 学びを礎に、今を歩む

流通経済大学で得た学びは、私の原点です。

卒業論文ではジェンダーを主題に選び、自由な発想を尊重する学風の中で、かねてより感じていた問題意識を存分に掘り下げることができました。この経験は私を支える確かな土台となり、参議院議員として男女共同参画の課題解決に取り組む現在の活動につながっています。

昨年、大学主催のジェンダーに関するシンポジウムに参加し、様々な立場の方と対話を重ねる中で、自身の考えがより明確となりました。卒業後も折に触れて教えを与えてくださる学び舎に感謝しております。創立60周年、心よりお祝い申し上げます。



**堂込麻紀子**  
参議院議員

1975年生まれ・1998年社会学部社会学科卒業。2022年第26回参議院議員通常選挙茨城県選挙区で初当選



1 1997年撮影、写真中央。所属は玉野ゼミ  
2 2024年7月に新松戸キャンパスで開催したシンポジウム  
3 1998年卒業アルバムより



## チャレンジを楽しもう!

大学生活といえば、“長い夏休み”。それが入学前のイメージでしたが、流経大では、考え、経験する機会をたくさん得ることができました。

経営学科のゼミで、先生からの5万円の出資を元に利益を出す企画を考えることになり、学園祭でかき氷に練乳をトッピングするマーケティングにトライすると、来場者に好評で、10万円ほどを売り上げました。

いまはドコモショップの店長をしています。「選ばれる店づくり」のために、お客様が何を求め必要としているのかを考える、その根底には、大学での学びがあると感じています。

様々なチャレンジができる流経大。入学予定の方も在学中の方も、一つひとつの機会を大事に、悔いのない学生生活を送ってほしいと思います。

**吉岡翔太郎**

ドコモショップアリオ西新井店長

1996年生まれ・2019年経済学部経営学科卒業。ノジマグループ・アイティーエックス株式会社勤務



## 最良の思い出…… 流経大在学中の4年間

私は開校5年目の1969年4月に入学、爾来今日まで学生、教員、学長、理事長と立場は違っても、いつも周囲のみさんからご支援をいただけてきました。感謝に堪えません。

入学以来の半世紀、最も印象に残っているのは学生時代です。生涯の恩師との出会い、苦楽を共にした友人たち、お世話になった龍ヶ崎の人々との交流は、今でも忘れられません。私にとっては、人生を決定づける4年間でした。新設の弱小大学が立派に成長して60周年、その歴史の一端を知る者として感慨無量というしかありません。

わが母校の「つづやかがざりなく」を祈っております。



**野尻俊明**

学校法人流通経済大学 前理事長

1950年生まれ・1973年経済学部経済学科卒業。本学学長を務めたのち、2021年に理事長就任、2025年退任。2017年には、国土交通省より「第61回 交通文化賞」を受賞



3



1 1997年頃撮影、講義中のショット

2 1973年卒業アルバムより

3 1991年撮影、教員時代。野尻ゼミの集合写真

4 1972年撮影、経済学部 佐伯ゼミ所属の学生時代。一番左



1



2

## 学生から学ぶ日々

着任して38年目になります。なぜこんなに長く続けてこられたのかを考えてみました。

一番は学生たちの人柄の良さにあると思います。自分を後回しにして友人や他人のために動ける人が多いのです。疲れているときは、大丈夫ですかと声をかけてくれたり、何かと手伝ってくれたりします。ノリがよい盛り上げ役の人も、本当はシャイで人見知りだったりします。傷つきやすいのに懸命に自分を鼓舞して頑張っている姿に励まされます。そして、とても謙虚です。

人として大切なことを、日々流経大生から学んでいます。流経大は学び合える場なのです。

**中村美枝子**

流通経済大学 大学院 社会学研究科長

1988年より流通経済大学社会学部(現・共創社会学部)にて教員を務める



2



1



3



4

1 1991年撮影、教職員テニス合宿にて  
2 1995年、1998年卒業アルバムより、中村ゼミ集合写真  
3 1990年代初頭、着任数年目のころ

1 ゼミの仲間と海へ  
2 青春祭の一コマ  
3 2019年3月の卒業式



1



2



# RKU KASHIWA NEWS



## 多様化する教育と新たな試み



文：堀江健二 校長

今年度、附属高校では10月に「創立40周年記念式典」を予定しています。1985年に男女共学の普通科高校として開校し、今では総合進学コースと特別進学コース、そしてスポーツ進学コースの3コースから成り立っています。この4月には新入生386名を迎え、総勢1,135名の生徒が勉強や部活動に励んでいます。

一方、附属中学校は完成年度を迎え、中3生157名と中2生149名に、新入生158名が加わり、総勢464名で毎日賑やかに学校生活を送っています。

新学習指導要領にある目標の一つ「主体的・対話的で深い学び」を、本校では探究活動を通して実現しています。生徒は自らテーマを決め、それを様々な角度から実験・観察・調査し、他者の意見・助言にも耳を傾け、最終的に自分なりの解釈をまとめ、発表します。その発表は、スライド投影する者もいれば、手書きのポスターにまとめる者、途中から研究テーマから逸れたエピソードを話す者、苦労話を披露する者など個性的で、私たち教師も感心させられる発見が多々あり、教員の資質向上にも一役買っています。

本校では、2026年度、中高一貫生が高校に進学してくるタイミングに合わせ、これまで1時間「50分」で行っていた授業を「45分」へ変更します。このことで、すべての必修授業を平日に収め、土曜日は生徒の希望に合わせた選択講座を数多く提供する計画です。



カイコガの観察実験(附属中1年)



電子黒板を利用した国語授業(附属中2年)



▲詳しくは、附属柏中学校・高校の公式HPをご覧ください。

## 2025年度前期 主な部活動の実績と紹介

### 高校男子ラグビー部

長野県上田市で7月に開催された「第12回全国高校7人制ラグビーフットボール大会」に千葉県代表として連続11回目の出場を果たしました。



市原スホレクパークD  
2025年6月15日

### 高校男子サッカー部

千葉県インハイ予選決勝において、日体柏に3対1で勝利し、福島県で開催された「令和7年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会」に出場しました。



### 放送部

第72回NHK杯全国高校放送コンテスト千葉県大会本選の朗読部門にて、高校3年生の東田さんが見事県代表に選ばれ、全国大会に出場しました。



### 吹奏楽部

6月、柏市民文化会館にて、吹奏楽部の第25回定期演奏会が行われました。



## 1965

### 流通経済大学開学 経済学部 経済学科 開設

1965年4月、日本通運株式会社の出捐により、龍ヶ崎の地で開学。流通問題の経済学的な研究と教育を目的とする単科大学として始まった。



1965年の航空写真

### 1970

#### 経済学部 経営学科 開設

### 1973

#### 産業経済研究所 (現 物流科学研究所) 設立

### 1985

#### 流通経済大学附属柏高等学校 開校

### 1988

#### 社会学部 社会学科 (現 共創社会学部 地域人間科学科) 開設

### 1989

#### 大学院 経済学研究科 修士課程 開設



1990年頃の講義棟

### 1991

#### 大学院 経済学研究科 博士後期課程 開設

### 1992

#### 大学院 社会学研究科 修士課程 開設

### 2005

#### 大学院 法学研究科 修士課程 開設

### 2006

#### スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 開設

### 2009

#### スポーツ健康センター竣工



### 1993

#### 社会学部 国際観光学科 (現 共創社会学部 国際文化ツーリズム学科) 開設



1993年のPCルーム

### 1994

#### 大学院 社会学研究科 博士後期課程 開設

### 1996

#### 流通情報学部 流通情報学科 開設

### 2000

#### 大学院 物流情報学研究科 修士課程 開設

### 2001

#### 法学部 企業法学科(現 法律学科)・ 自治行政学科 開設

### 2002

#### 大学院 物流情報学研究科 博士後期課程 開設

## 2004

### 新松戸キャンパス開校

キャンパス開校に伴い、「キャンパス選択制」を導入。学生自らが、学ぶキャンパスを主体的に選べる、日本初の画期的制度となった。



### 2010

#### 大学院 スポーツ健康科学研究科 修士課程 開設

### 2017

#### スポーツ健康科学部 スポーツ コミュニケーション学科 開設

### 2023

#### 流通経済大学附属柏中学校 開校



## 2025

### 学校法人流通経済大学に改称

文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択

### 11月、創立60周年を迎える

### ホームカミングデー開催!

11月2日(日) @龍ヶ崎キャンパス

卒業生を迎え、教職員等との交流を図る「ホームカミングデー」を開催します。つくばね祭(龍ヶ崎キャンパス学園祭)と同日開催。多くの卒業生の方のご来場をお待ちしています。

詳しくはこちら



### ご寄付について

2028年9月30日まで、「流通経済大学創立60周年記念事業寄付金」の募集を行っています。流通経済大学の今後に向けての決意と意欲にご理解を賜り、ぜひともご協力をいただきますようお願い申し上げます。

詳しくはこちら



Exploring around Ryutsu Keizai University

# 流経大を歩く

今年、創立60周年を迎える流通経済大学。始まりの地である「龍ヶ崎キャンパス」に宿る「チカラ」「ゲニウス・ロキ」を探ります。



Takashi Ryuzaki

文：龍崎 孝 流通経済大学共創社会学部教授  
元毎日新聞社記者、元TBSテレビ政治部長／第30回日本ジャーナリスト会議JCJ奨励賞「財界と政界～再編の胎動」(1990年度)／第30回放送文化基金賞「JNN三陸臨時支局の活動に対して」(2012年度)

## 龍ヶ崎の地に宿る「地霊」

「ゲニウス・ロキ」(Genius loci)、「地霊」と言い換えればいいのだろうか。有史以来、幾たびも大津波に遭いながら、人が三陸に住み続けるのはなぜか―東日本大震災の折、歩き回った数々の「浜」で、この言葉を思った。歴史を紡いできた地にはその土地特有の連想性や可能性があるという。ならば、いま私の目の前で、赤と黒黄の



## 60年の積み重ねが織りなすもの

「ゲニウス・ロキ」、その土地がもつ、固有のチカラ、醸成する空気と言えはよいのだろうか。都市部の新松戸キャンパスと異なり、龍ヶ崎キャンパスには60年の歴史が育んだ桜の大木がそびえ、露月池を取り囲む小さな森もある。2016年に赴任してきた際に、職員の方に「雉

を見かけることもあ



「りますよ」と教えてもらったことが妙に忘れられない。「地霊」が宿るのにふさわしい佇まいではないか。龍ヶ崎は江戸時代、伊達藩が一万石をもって治めていた。当時、伊達藩は大都市・江戸の米を供給するという一大責務を負っていた。石巻から船に乗せ、房総半島の勝浦周辺で「日和」を行い、江戸湾に運び入れる、という「廻米」事業が藩を潤わせた。ゆえに、江戸の食を満たすため、不作の年は農民から「種米」まで供出させたという過酷な制度でもあった。「流通経済」を冠する大学を開設することを決めた人の胸中に、「廻米」という一大流通事業の史実が潜んでいたとしても不思議ではない。



崎一高から流経大などに続く台地が、龍が起き上がる様に似ているから、という説が紹介されている。HPには「龍崎氏が治めていたから」という一項もある。要は、確としたものはない、ということだろう。ただ、龍崎氏の居館は竜ヶ崎一高のあたりにあったというから、私にとってこのキャンパスは



そもそも「龍ヶ崎」という地名はどこから生まれたのか。龍ヶ崎市のHPを探ると、地名の由来は4つあり、その中に現在の竜ヶ

父祖の地だった、と思えば、いま籍を置くのもまた「ゲニウス・ロキ」の導きかもしれない。創設当時の龍ヶ崎キャンパスはどのような姿だったのか、野尻俊明さん(流通経済大学名誉教授、1973年卒)に伺った。「頭の中には浮かぶのですが、うまく表現できません」という言葉の後に、「1〜20期の卒業生に聞くと、在学当時と全く変わってしまった、という印象です」と返事をいただいた。まさに、言い表せないということが、60年の重みである。当時のキャン

## 思いが結果を導く

バスを捉えた写真の中に、未来を想起させるようなモダンな建物群がある。開学の前年、東京オリンピックが開催されたことを思い起こせば、敗戦国から国際社会に復帰した躍動感が、建物にも、キャンパスにもみなぎっていたに違いない。

流経大は慶應大学に敗れた。終了間際に3点差まで詰め寄りながら、突き放された。選手の一人が、私の授業に出席している。「慶應のラグビーは流経とどう違ったのか」と尋ねた。彼は「早かったです」とつぶやいた。運動能力の差ではない。126年ラグビーを守り続けたチームと、まだ60年のチームの、ラグビーに向き合う意識の差である、と私は思う。「ゲニウス・ロキ」は「まだまだ」と言っているのだ。伝統とは、積み上げてきた思いの重さ、ということか。



# PICK UP STUDENTS

## 学生ピックアップ

vol.08  
スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科 2年  
きむら かなで  
木村 奏さん

2006年、茨城県生まれ。9歳での初入賞を皮切りに、国内外で数々のタイトルを獲得。10月開催の「ITFテコンドー世界選手権大会」への出場を控える。



### テコンドーとは

韓国発祥の格闘技で、全身を使ったスピーディーな動作と多彩な足技が特徴の護身術。「踏(テ)拳(コン)道(ドー)」は、蹴る・突く・精神修養を意味し、1,200種の足技と2,000種の手技で構成されます。木村さんが修練するのは伝統派のITFスタイルで、型の正確性や美しさを競う「トゥル(型)」や実戦形式の「マツギ(組手)」などの種目があります。ポイント制で相手を傷つけない攻撃が重視され、礼儀や精神性も評価の対象とされます。

Kimura  
Kanade

「道着をまとうと、私は強くなれる」  
自分らしさを武器に、世界の舞台へ



道着をまとうと凛々しくなるのは子どもの頃から



普段着の木村さんは、はにかんだ笑顔が印象的

一瞬で心奪われたテコンドー  
小さな一歩から、世界の舞台へ

木村さんとテコンドーとの出会いは小学1年生のとき。両親のすすめで体験教室に参加し、ダイナミックな蹴りや型の美しさにすっかり魅了されたそう。「格闘技って、相手を倒す、イメージが強いですが、テコンドーはポイント制なので攻撃しただけで手足を引かなくてはならないし、相手にケガをさせてはいけません。礼儀や相手へのリスペクトも重視されます。華麗な技とともに、そうした精神、奥深さに子どもながらに惹かれました」。

最初はなかなか勝てず悔しい思いもしましたが、努力を重ねるうち徐々に技術が身につく、小学3年で初入賞。そこから実力が開花し、表彰台の常連に。高校3年では、型と組手の両方で世界選手権に出場しました。「週末は朝から晩までテコンドー漬け。練習は過酷でしたが、国や言葉の壁を越えて世界中の選手とつながれた経験は何にも代えがたい宝物です」。

中学・高校時代は「休んだら負け」と自分を追い込み、つねに全力で走り

「自分らしいテコンドー」  
指導することで見えてきた、

続ける毎日。心や身体と向き合う余裕もなかったと言います。そんな中、高校1年からは道場の準指導員も務めるようになり、子どもから高齢者まで幅広い世代を指導するうち、「子どもにもは実演、大人には言葉で伝える」と相手に合わせた工夫を重ね、自分なりの指導法を築いてきました。「指導のおかげで、自分のテコンドーを客観視できるようになりました。勝ちを目指すだけでなく、心と身体のバランスを大切に、自分のペースでやっていく。前向きな気持ちでテコンドーを心から楽しむ。先生や仲間と励む時間や、支え合う中で生まれる笑顔

「そういう瞬間を大切にしたいと思うようになったんです」。

人に寄り添いたい  
その想いが、将来への志に

そうした時間を重ねるうち、木村さんに自然と芽生えたのが、人に寄り添いたいという気持ちでした。「振り返れば、昔から誰かを支えたいという気持ちがありました。試合中も仲間への声かけや心のケアを自然と意識していて、そんな姿を見た高校の先生が『メンタルトレーナーに向いているかも』と言ってくれて。そこからメンタルトレーナーの道を真剣に考えるようになり、資格取得に必要なことが学べる流経大に入りました」。

さらに、障がい者向けのテコンドーイベントへの参加をきっかけに、テコンドーを通じて社会貢献したいという思いが強まり、「障がい者スポーツ指導員」の資格取得も目指すように。「イベントに参加する中で、テコンドーは年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して楽しめるスポーツであることに気づきました。また、それぞれの立場に寄り添い、一緒に挑戦することの大切さも実感しました。今後は、テコンドーを通して、一人ひとりが自分らしく輝ける場を広げていきたいと思っています」。



凛とした美しさが際立つ木村さんの型。組手で出場も含め、13年のキャリアで優勝30回(入賞91回)の華々しい成績



道着を着ると、  
スイッチが入る  
2度目の  
世界選手権出場へ

木村さんが現在注力しているのは、今年10月にイタリアで開催される世界大会への準備です。「2度目の今回は組手種目での出場。しっかり練習して勝ちにいきたいと思います」と意気込みます。

「道着を着るとスイッチが入るといふか、気持ちが入るといふか、授業では発表するときなどすごく緊張するのに、道着を着ているときは堂々としていられます。指導しているときも全然緊張しないし、試合でコートに立つと気持ちが入る。だから、テコンドーをしている自分が、本当の自分、って思えるんですよね」。

自分らしさを武器に、再び世界の舞台へ。道着をまとうたび、本当の自分に立ち返る木村さんは、マイペースだけれどひたむきに、一歩一歩前に進んでいます。

# 部活・サークル紹介

## CLUB ACTIVITIES

vol.06

### トライアスロン競技部

部員は家族のような存在。  
互いに励まし合いながら  
切磋琢磨できるのがこの部の魅力です!



朝6時半、龍ヶ崎キャンパスの温水プールに響く水しぶきと呼吸の音——。スイム・バイク・ランの3種目を通じて心と身体の限界に挑む、トライアスロン競技部の1日が、静かに始まります。

2024年U23スプリントトライアスロン日本選手権で優勝を果たした男子キャプテンの定塚利心さん、女子キャプテンの平泉真心さんを筆頭に、数々の大会で入賞経験をもつ実力派の7名が在籍。本学出身で元オリンピック日本代表の田山寛豪先生のもと、インカレ優勝、そして'28ロサンゼルス五輪出場を目指し、週6日、1日4~6時間の厳しい練習に全力で取り組んでいます。

部活中は各々真剣な表情で己と向き合う一方、練習を終えた後にはみんな自然と笑顔がこぼれ、和気藹々とした雰囲気。トライアスロンの技術だけでなく、礼儀や思いやり、人としての強さ、優しさも育む——そんな田山先生の指導方針が、部の空気そのものに反映されているようです。

#### サークル情報

練習時間 —— 月曜除く毎日 朝6時半~午後まで  
※終了時間は日による  
練習場所 —— スポーツ健康センター 温水プール  
および龍ヶ崎キャンパス周辺  
所属人数 —— 7名



Instagram: @rku\_triathlon



# PICK UP INTERNATIONAL STUDENTS

## 留学生ピックアップ

学びも課外活動も全力で挑戦!  
目指すは物流のプロフェッショナル



流通情報学部  
流通情報学科 3年  
ダオ・ティ・ランさん  
ベトナム出身

「日本で知った『物流』の深さ  
子どもの頃親しんだ『ドラえもん』で日本に憧れていたというベトナムからの留学生ランさん。2019年に来日し、日本語学校を経て東京国際ビジネス専門学校に入学。国際貿易を学ぶ中で「物流の知識を深めたい」との思いが芽生え、流通経済大学へ進学しました。」

物流に興味をもったきっかけは、専門学校時代に2年間働いたアマゾン物流倉庫でのアルバイト。倉庫内の精緻なシステムに触れ「物流は社会全体を支える根幹」だと実感したそう。「オンラインショップの背後には多くの人の努力

がある。物流はあらゆる生活の場面を支えているんです」と力を込めて語ります。

現在は流通情報学科で、「消費者物流論」に関心をもち、2024年問題や人手不足、労働環境について深く掘り下げて勉強中です。「授業で学んでから、ドライバーの負担を減らすため、宅配は必ず置き配です。」

Đào Thị Lan from Vietnam



松戸市国際交流パーティーにて踊りを披露

### 将来の夢に向かって 今できることを全力で

学業だけでなく課外活動にも積極的なランさん。松戸市の「国際文化大使」として様々なイベント

に参加しベトナムの魅力を発信。また、留学生団体の活動ではダンスや文化紹介、語学教室の開催にも携わっています。

さらに現在はユニセフで募金活動のアルバイトも。自身が発展の遅れた地域で育った経験から、「将来の子どもたちが困らない社会をつくりたい」という想いをもちようになりました。「私たちはこれから社会に出ていく存在として、社会的責任があります。日本、ベトナム、そして世界のことを考えて行動していきたい」と目を輝かせます。

昨年は学内のスピーチコンテストにも日本語で挑戦。「多くの人の前で話すのが苦手だったから、克



新松戸チャリティフリーマーケットにベトナム留学生サークルで出店



新松戸商店会連合会と大学が協業した「新松戸まちゼミ」で講師を務めた

服のチャンスになると思ったんです。本番は緊張しましたが、自分の思いをしっかり伝えられた瞬間、力がみなぎるような感覚がありました。この経験は大きな自信につながり、今ではイベントでリーダーとしての役割を担うことも増えたそう。

将来は日本の物流企業で研究職に就き、業界の課題改善に貢献するのが夢。大学院進学も視野に入れつつ、10年後、20年後の未来をまっすぐ見据えています。「日本留学も、流通経済大学も、どちらも第一志望でした。これからも、第一希望の道を、自分の意志で進んでいきたいです。」



最新TOPICSは大学公式HPで随時更新中!  
各記事のQRコードからも詳細をご覧ください。

## '24/12/22 ウィンターコンサート2024

毎年恒例の吹奏楽部によるウィンターコンサートが新松戸で開催されました。中央学院大学吹奏楽団とのコラボが実現した今回は、コントラバスやチューバの音色も加わり、金管楽器の迫力もアップして、少人数編成では難しい楽曲にも挑戦! 300人超の来場者を迎えた会場は、終始なごやかな温かい空気に包まれました。



## '25/3月 「龍・流連携」で小学校の体育授業をサポート

龍ヶ崎市と推進する「龍・流連携事業」の一つ「市内小中学校学生派遣」の一環で、スポーツ健康科学部の学生4人が龍ヶ崎市立長山小学校4年生の体育の授業をサポートしました。学生にとっても学びを実践できる貴重な学習機会であるこの取り組みは、東京新聞やラッキー FM (茨城放送) でも取り上げられました。



## '25/4/1 学校法人名称変更

創立60周年の今年、「学校法人日通学園」から「学校法人流通経済大学」に名称変更しました。学園の明るい未来に向け、改革リスタートの起点とし、高度情報化、多様化、グローバル化した社会のニーズに応える有為な人材の輩出に注力していきます。

## '25/4/16 若年層の性暴力被害予防キャンペーン

入学や就職で生活環境が変わる4月は「若年層の性暴力被害予防月間」と定められています。これに合わせて千葉県警が新松戸キャンパスで防犯キャンペーンを実施、防犯ボランティアサークル「M.A.P.S.」も参加して在学生や地域の方に被害防止を呼びかけました。キャンパス正面では多くの人々が足を止め、耳を傾けていました。



## '25/5/17 WTCSに学生3人が日本代表として出場

横浜で行われた2025WTCS(ワールドトライアスロンチャンピオンシップシリーズ)に流経大生3人が日本代表として出場を果たしました。WTCSは世界を転戦しながらポイントを獲得し、年間のチャンピオンを決定するシリーズ戦で、オリンピックにつながる世界最高峰の大会です。

写真左から大島拓人選手、平泉真心選手、定塚利心選手



## '24/11/14 朝日新聞に福井准教授のインタビュー掲載

朝日新聞朝刊「耕論」に、共創社会学部の福井一喜准教授のインタビュー記事が掲載されました。観光立国の問題点、その背景にある資本主義や政治に関する論点を指摘するこの記事は、11月14日の朝日新聞アクセスランキングで第2位になるなど、多くの方に読まれ、賛同・支持の声が多く集まりました。



## '24/11月・'25/3月 矢野教授がNHKの番組に生出演

流通情報学部・学部長の矢野裕児教授がNHK名古屋「東海ドまんなか!」('24年11月放送) およびNHK大阪「かんさい熱視線」('25年3月放送) にスタジオ生出演。「物流2024年問題」の影響や、運送事業者の実態などについて解説しました。



## '24/11/25~30 ダイバーシティウィーク2024

多様性の推進に全学で取り組む「ダイバーシティウィーク」を2024年度も開催。新松戸でVRを用いた留学生向け防災セミナー、龍ヶ崎でバラスポーツの体験会を実施したほか、障がいや人種差別に関する書籍・アート・映画を多く紹介し、上映会にはたくさんの方が参加しました。学生、教職員共に「当たり前」の中にある課題を見つけ出す1週間となりました。



## '24/11/30 わくわくデイキャンプ

龍ヶ崎市近隣に住む発達障がい児と保護者を対象に、様々なスポーツで身体を動かし、子どもたちの個性を見つけて伸ばそうという「デイキャンプ」を実施しました。子どもたちが学生と共に、プールでのアクアスロンや自由な身体表現に挑戦する一方、保護者の方はレゴを使って「思い」の可視化に挑戦。参加者全員に笑顔が溢れる1日となりました。



## '24/9/26 ノートテイク講習会

千葉県聴覚障害者協会の協力で聴覚障がい者の学びをサポートする「ノートテイク」の講習会を新松戸で開催しました。当日は40名の学生・教職員が参加し、聴覚障がいの実態を学ぶ講話とノートテイクの手法を学ぶ実技に真剣に耳を傾けました。



## '24/9/27 法学部生が茨城県議会で発表

茨城県議会で「公共交通及び物流に関する学生との意見交換」が行われ、坂野ゼミから諏訪湧也さんと飯田健太郎さんが登壇し発表しました。自動運転やドローンを活用した効率的な物流の実現についてや、幼い頃から公共交通に親しむ機会を増やし、利用促進につなげる取り組みについて提案。多くの議員や県職員の方々からフィードバックをいただき、さらに学びを深める機会となりました。



## '24/10月~'25/1月 箱根駅伝への道のり

箱根駅伝本戦出場を目指す陸上競技部駅伝チーム。10月の予選会では出場権獲得に至りませんでした。総合15位と過去最高位を記録しました。また、スポーツ健康科学部4年(当時)の森川蒼太選手が関東学生連合チームのメンバー入りを果たし、新松戸幼稚園や新松戸駅のみなさんからも温かい応援を受け、「花の2区」と呼ばれる往路の大舞台を激走しました。



## '24/10・11月 であうアート展2024

学生と障がいがあるアーティスト、そして地域住民が「であう。つながる。場を創出する「であうアート展」。2024年は、埼玉県川口市の「工房集」に所属するアーティストの作品などが飾られ、期間中の来場者数は累計1,600人を超えました。最終日となった11月24日には、スペシャルイベント「であう広場」を新松戸で開催。企画・運営に携わった学生たちは大きな成果を実感していました。



## '24/7/30 シンポジウム「これからのジェンダー平等と法」

「ジェンダー平等」について「法律」の観点から考えるシンポジウムを新松戸で開催、猛暑の中200名を超える来場がありました。法学部の田中雅子准教授と阿部優子准教授、さらに卒業生の堂込麻紀子参議院議員と客員講師の捧愛弁護士も登壇し、国会や法曹界でのジェンダー平等の実現に向けた課題と展望などについて講演。パネルディスカッションも行いました。



## '24/9/1 ベトナム人留学生が「まつど国際文化大使」に

キャンパスがある千葉県松戸市から、本学のベトナム人留学生6名が、「第27期まつど国際文化大使」を委嘱されました。市内で開催される国際理解促進のためのイベント等で自国の文化などを紹介する役割を担います。

【これまでの活動】

- 10月:小金原団地の秋まつりで伝統衣装のアオザイに身を包み踊りや歌を披露
- 12月:松戸市国際交流パーティーでベトナムの伝統舞踊を披露
- 5月:松戸市の岩瀬ときめきクラブの食事会で伝統舞踊を披露



## '24/9月・'25/2・3月 春・秋学期市民大学講座

新松戸・龍ヶ崎それぞれの自治体と連携して、地域の方を対象とした市民大学講座を開催しました。「初めて知る情報や知見を得られた」など、いずれの講座も来場者に好評を博しました。

【講座テーマ】

- 9月新松戸: 法学部 塚田桂祐教授「わたしたちの防災～危機への対応を東日本大震災から考える～」
- 9月龍ヶ崎: 法学部 宮平真弥教授「日本の国防と沖縄の軍事基地」
- 2月新松戸: 共創社会学部 龍崎 孝教授、西田善行准教授「地域の「発見」の仕方～大学的ちばらきガイド～」
- 3月龍ヶ崎: 流通情報学部 大島弘明教授「持続可能な物流の実現～2024年問題の現在・過去・未来～」 / 小川健一朗准教授「人工知能から見た人間と現代社会～言葉を扱う人工知能が我々に教えてくれること～」



# 新任教員紹介

2025年度に新たに赴任した教員を紹介します。

## いちのわたりただゆき 一ノ渡忠之 経済学部 准教授

[担当科目] 国際経済論

- 学歴  
明治大学大学院商学研究科博士後期課程修了
- 学位  
博士(商学)明治大学
- 職歴  
公益財団法人国際金融情報センター 特別研究員/  
公立小松大学国際文化交流学部 准教授

## やまさきかずひさ 山崎和久 経済学部 准教授

[担当科目] 生態学、生命科学、リベラルアーツ演習

- 学歴  
岐阜大学大学院連合農学研究科生物環境科学専攻修了
- 学位  
博士(農学)岐阜大学
- 職歴  
国立科学博物館動物研究部 協力研究員/  
東京農工大学農学府・農学部 特任准教授

## なすのいくひろ 那須野育大 共創社会学部 准教授

[担当科目] 観光産業論

- 学歴  
中央大学大学院総合政策研究科総合政策専攻博士後期課程修了
- 学位  
博士(総合政策)中央大学
- 職歴  
富山高等専門学校国際ビジネス学科 講師・准教授/  
大阪産業大学経営学部経営学科 准教授

## あらかわ 荒川オクサナ 共創社会学部 助教

[担当科目] 英語

- 学歴  
神田外語大学大学院言語科学科研究科日本語専攻修士課程修了
- 学位  
修士(文学)神田外語大学
- 職歴  
モスクワ国立教育大学 専任講師等/  
流通経済大学経済学部 非常勤講師

## たしろりょう 田代嶺 共創社会学部 助教

[担当科目] 哲学、社会倫理学、リベラルアーツ演習

- 学歴  
学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位取得退学
- 学位  
博士(哲学)学習院大学
- 職歴  
学習院大学文学部哲学科 非常勤講師/  
流通経済大学共創社会学部 非常勤講師

## ちんよせん 陳予茜 共創社会学部 助教

[担当科目] 地域社会学

- 学歴  
明治大学大学院情報コミュニケーション研究科博士後期課程修了
- 学位  
博士(情報コミュニケーション学)明治大学
- 職歴  
明治大学情報コミュニケーション学部 兼任講師

## おかもとてつべい 岡本鉄兵 流通情報学部 准教授

[担当科目] 情報化社会における職業と倫理、ヒューマンインターフェイス論、WEBデザイン演習、マルチメディア・コンテンツ

- 学歴  
東京電機大学大学院理工学研究科システム工学専攻修了
- 学位  
博士(情報学)東京電機大学
- 職歴  
旭光工業株式会社 / リコイメーjing株式会社

## くりたよしやす 栗田佳泰 法学部 教授

[担当科目] 憲法

- 学歴  
九州大学大学院法学府公法・社会法学専攻博士後期課程修了
- 学位  
博士(学術)九州大学
- 職歴  
新潟大学法学部 教授

## いしかわまり 石川茉莉 法学部 助教

[担当科目] 労働法、社会保障法

- 学歴  
東京大学法学部政治学専攻総合法政(労働法)専攻博士課程単位取得退学
- 学位  
法務博士(専門職)東京大学
- 職歴  
武蔵大学経済学部 非常勤講師/  
公益財団法人連合総合生活開発研究所(連合総研)研究員

## かとうはるか 加藤晴香 教育学習支援センター専任所員(講師)

- 学歴  
筑波大学人間総合科学術院障害科学学位プログラム博士前期課程修了
- 学位  
修士(障害科学)筑波大学
- 職歴  
茨城県取手市教育委員会指導課就学相談 相談員など

## やまなかあずさ 山中梓 教育学習支援センター専任所員(講師)

- 学歴  
東北大学大学院文学研究科博士課程後期3年の課程 / 日文学専攻日本語学専攻分野修了
- 学位  
博士(文学)東北大学
- 職歴  
尚絅学院大学 非常勤講師など

## 編集後記

- 2016年、新松戸キャンパスに2号館が誕生した。完成当初、校舎は静けさに包まれていた。授業が終わると、学生たちは足早に1号館に戻っていった。掲示物がほとんど貼られていない、ガラス張りの建物からは、どこか冷たさを感じられた。
- それから9年。景色は見事に変わった。1階のロビーには学生たちが集うようになり、快活な声が響き渡るようになった。併設されている体育館も熱気に満ちている。2階にはダイバーシティ共創センターが設置さ

れ、学生生活をサポートする体制も整った。いまでは、色鮮やかなポスターや創作物が、館内に多数展示されている。

- 来年、2号館は竣工10周年を迎える。これからもその姿を少しずつ変えていってくれることだろう。本学が創立70周年を迎える2035年には、果たしてどのような校舎になっているのだろうか。そしてそこで学生たちは、何を語り合っているのだろうか。いまからその未来が楽しみだ。



学報 RKU Today vol.47 2025年8月発行  
編集・発行 / 学校法人流通経済大学 広報室  
千葉県松戸市新松戸 3-2-1 〒270-8555 khs@rku.ac.jp

RKU Today の  
バックナンバーは  
こちら▶

